

第 44 回消費者大会が開催されました！

千葉県生協連が事務局を担っている消費者団体千葉県連絡会が、2月14日（金）、千葉県教育会館 203 会議室において『第 44 回消費者大会』を開催し、58 名の参加がありました。

今年度は「今からできる災害への備え」として被災した場合の支援制度や補償制度、災害への備えについて二名の講師の方に講演をしていただきました。



主催者挨拶



第一部 「風水害における千葉県の被害状況と

生活支援制度や補償制度について」

こくみん共済 coop 千葉推進本部 河崎 章さん

昨年千葉県に被害をもたらした台風 15 号、19 号とその後の集中豪雨の被害状況の説明の後、被災した場合に受けられる公的支援制度についての話がありました。公的支援制度を受けるためには条件があること、市町村によって支援内容が異なること、また支援金額などを説明がありました。公的支援だけでは生活再建は十分でないため、自助の重要性についてなど、丁寧に説明していただきました。

第二部 「実践的な災害に対する備え」

千葉県生活協同組合連合会 災害対策アドバイザー

水島 重光さん

ご自身が阪神淡路大震災の被災者だということから、経験から得た様々な知識や、対応策をユーモアを交えながら話されました。高齢化（重いものを運べない）やキャッシュレス社会（現金が家庭にない）、物流システムの整備により在庫を持たない店舗増（品物が最低限度）など、現在の社会に対応して備えなければならぬことなど、今すぐ対応できる知識を教えてくださいました。



出席者アンケートより（一部抜粋）

・被災者生活再建支援制度の内容がよくわかった。・災害時の公的支援制度について理解できた。・家庭での備えに必要な保証を再確認できた。・災害に備えて自助の必要性を強く感じた。・自分の家の備えを考える大きな機会となった。・深く有意義な話で良かった。